



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

2011年10月9日 No.769

事務所:品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

海外調査が 6年連続 中止に!

自民党が提案、共産党は実施に反対

2005年実施の海外調査経費

- 海外調査 総計9人分 6,094,980円
 - うち議員7人分 4,740,540円 (議員1人あたり 677,220円)
 - うち職員2人分 1,354,440円

内 訳 (1人あたり)	航空賃・宿泊料等	580,000円
	支度金 (個人的準備に充当)	43,120円
	日当(9日分)	54,100円

- 海外調査報告書 550冊 482,850円

合 計

6,577,830円

前回の海外調査は自民・民主・社民の議員7名がフランクフルトやオスロなど訪問。「少子化対策」の調査が名目だったけれど...

こんなに税金使ったって成果あったの?
(答えはウラ面に)



海外調査は今年度中止することが先月20日の議会運営委員会で決定しました。6年連続の中止です。海外調査に反対したのは当初は共産党だけでしたが、今回はこれまで海外調査をすすめてきた民主党も提案せず、提案したのは自民党だけでした。

必要性の説明もない 海外調査は中止が当然

今回、自民党が提案していた海外調査はインドネシア・スマトラ島とタイ・バンコクの2ヶ所。スマトラ島は津波被害後の建築物の被災度判定やコミュニティと情報伝達などの調査。バンコクは区内中小企業のアジア進出や取引きへの支援の調査というもの。しかし、自民党提案は、地方議会でもなぜその調査が必要なのか、なぜ現地に行かなければならないかなどの説明はなし。民間企業では考えられません。中止は当然です。

自民党は今年区議選があったので準備が遅れたと説明しましたが、準備不足で提案するこ

としたい問題です。反対を押し切って海外調査の予算を組んだために提案だけはしておくというアリバイ的提案だったのではないかと思えません。

2005年の海外調査 やっぱりムダでした

品川区議会の海外調査は直近の実施が2005年。自民・民主・社民の議員7名が「少子化対策」調査を目的に12月11日～18日の日程でドイツ・フランクフルト市やノルウェー・オスロ市など訪問しました(表面参照)。

海外調査は深刻な保育園不足のなか実施されましたが、調査後まとめた「提言」は「小規模・多機能の預かり保育」「出産・子育て意欲の喚起」など言うものの保育園増設は一言もなし。高額な費用をかけて事情の違う海外に行き、保育園不足に応えない提言…こんな海外調査はやる意味ありません。ムダです。

海外調査

当初予算に組むのは 「申し合わせ」に反する



来年度予算編成を前に区議会の要望を毎年区長に提出します。各党の意見を参考に議長が要望していますが、海外調査予算について自民党が今回も要求。共産党は盛り込まないよう主張しています。

品川区議会の「申し合わせ」では「議会運営委員会において、海外調査項目の検討を行い、調査の実施を必要と認めるときは、その経費の予算を要求する」と規定しています。自民・公明・民

主らはこれまで海外調査の実施を決めてから予算を要求していたら緊急時に間に合わないという主張に反して、初予算に組むことを正当化してきましたが、「申し合わせ」に反することは明らかです。

休日・夜間の議会開催、ネット中継など より開かれた区議会へ共産党が提案

共産党区議団の来年度予算への要望は、区議会をより区民に開かれたものにするための提案です。具体的には①本会議と各委員会の休日・夜間開催。②議

会運営委員会の公開。③傍聴者にも議員と同じ資料の配布。④政調費など議会の情報公開請求の手数料無料化。⑤本会議と委員会のインターネット中継とホー

お困りのときは お気軽にご相談ください

- くらし・区政の相談はいつでも受付けます。
- 無料法律相談は10月21日(金) 弁護士が対応します Pm6:30～です。



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所
品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

ムページへの動画搭載。⑥各党・会派代表者による討論会開催と区民チャンネルでの放映などです。区議会の公開を前進させて議会の様子を見えるようにすることは、区民の区政参加を広げるうえで欠かせません。

なお、共産党は、議会出席に交通費など名目で1回4000円を支給する「費用弁償」制度の廃止も求めています。